

# 日光今昔物語

## 第九話

### ～黒部ダム～



改修工事前の黒部ダム(昭和60年ごろ)



現在の黒部ダム

栗山地域にある黒部ダムは、大正元年に日本で初めて建設された発電用のコンクリート重力式ダムです。当時、ダム建設の資材は、今市地域から大笹峠を越えて栗山地域へ続く道を、牛車によって運ばれました。

2年の建設期間を経て完成したダムは、高さ33メートル、幅150メートル。当時としては、日本最大級の規模を誇りました。貯水された水は、下流に建設された下滝発電所での水力発電に使われていました。現在では鬼怒川発電所で使われています。

数々の洪水にも耐えてきた黒部ダムでしたが、老朽化が進んだため昭和62年から平成元年にかけて改修され、現在の形になりました。設備や操作性などは近代的になりましたが、石張りの堰堤部分だけは昔の姿のまま残されており、ダムの上を走る県道からは、昔懐かしい堰堤と大自然の景観を楽しむことができます。

## 今月の表紙



11月2日(木)から5日(日)までの4日間、日光だいや川公園を会場に日光そばまつりが開催されました。

毎年多くの人が訪れるそばまつりは、日光市で最大のイベントです。お目当ての店のそばを食べるため朝早くから並ぶなど、約12万2千人もの人が訪れました。くわしくは10ページをご覧ください。

## 一喜一憂

地元のホッケーチーム、グラクソ・スミスクライン。今シーズンは年末の全日本女子ホッケー選手権大会を残すのみとなりました。

ホッケーシーズンの終了が近づくと、今度はアイスホッケーシーズン本番となります。地元チーム、日光神戸アイスバックスが参加するアジアリーグもすでに開幕し、毎試合熱いプレーを見せてきています。

先日、細尾ドームリンクオープン取材した際に、小学生の試合を見ました。小学生ながらも大人顔負けのプレーで、きっと将来はアジアリーグの選手として活躍してくれるのではないかと期待しています。

今シーズンの日光ではアジアリーグのほか、日光杯全日本女子中学・高校生大会、インカレ、インターハイ、世界選手権女子デイベリオンと、アイスホッケーの大会が目白押しです。

私もぜひ会場を訪れ、熱いプレーに一喜一憂したいと思います。(成)

## 11月の人口と世帯数

人口	95,396人	(-56)
男	46,554人	(-40)
女	48,842人	(-16)
世帯数	35,933世帯	(-7)

※住民基本台帳による(11月1日現在)  
※( )内は前月比